

No.624

2026.9.14

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th



岐阜県金属工業団地協同組合

令和 8 年熊本地震災害義援金について

被災地・被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この度、令和 8 年熊本地震災害において、犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げるとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

被災者の皆様と被災地の復興にお役立ていただくための災害義援金を届けさせていただきます。

令和 8 年 8 月 19 日

岐阜県金属工業団地協同組合

代表理事 鳥山仁

令和 8 年熊本地震で被災された皆様への支援と、被災地の復興にお役立ていただくための災害義援金について、8月19日に鳥山理事長のメッセージとともに各務原市福祉政策課を通じて日本赤十字社に50万円の寄付をおこないました。



退任役員慰労会及び新役員歓迎会

8月21日(金)18時より『うを仁』にて退任役員慰労会及び新役員歓迎会を開催いたしました。

鳥山理事長より挨拶を頂戴し、5月の通常総会をもって退任された鈴木純一様、三島基成様へ、これまでのご尽力に感謝の意を込め、目録と記念品、そして花束を贈呈いたしました。続いて、お二人からはこれまでの歩みを振り返りながら、心温まるご挨拶を頂戴しました。永年にわたり組合運営に携わり、今日の発展に多大なるご貢献をいただきましたことに、改めて心より感謝申し上げます。

また、乾杯のご発声は、新たに監事に就任した柳原弘幸様よりいただき、歓談のひとつきを過ごしました。



8月度 月例会開催

8月17日(月)正午より組合研修センター3階集会室にて8月度月例会を開催しました。

今回は、「手形・小切手廃止に伴う短期貸付金の取り扱い変更について」と題し、組合顧問弁護士の小森様にご同席賜り、組合員及び各社担当者の方に多数お集まりいただきました。

林事務局長より金融事業における短期貸付金の運用方法について、10月1日以降、金融機関における小切手の取扱いが終了することに伴い、組合金融事業の短期貸付についても小切手を使用しない方法へ変更すること、また、対応方法は金融機関ごとに異なること、取引約定書等の提出にご協力いただく等が組合事務局より説明されました。



株式会社 中川製作所 社長 岡野嘉邦様 ご逝去



株式会社中川製作所 社長 岡野嘉邦様が令和8年5月5日、満87歳を以て永眠されました。

岡野嘉邦様のご逝去に謹んで哀悼の意を表します。

なお葬儀式は近親者のみでしめやかに執り行われました。



スタイル

このタイトルを見ると、仕事や生活の「スタイル」の話かと思われるかもしれないが、今回は私の趣味であるスノーボードについて書きたいと思う。

私は中学3年生からスノーボードを始め、気付けば23年も続けている。以前は毎年シーズン券を買い、毎週滑りに行くことが日課であった。結婚を機にシーズン券を卒業し、今では、おこづかいと相談しながら早割りリフト券を何枚買おうか悩むのが、シーズン前の恒例となっている。

スノーボードの世界では、「スタイル」という言葉をよく使う。

ここでいうスタイルとは、体型という意味ではない。ウェアの着こなしや滑り方、トリックの形や見せ方、さらにはスノーボードへの向き合い方まで、いろいろな意味を含んでいる。「あの人、スタイル出てるね！」などと使うが、これはスノーボーダーにとってかなりの褒め言葉である。

ただ、この「スタイル」は非常に曖昧だ。難しい技ができるからスタイルが出ているというわけではなく、同じ技でも身体の形やグラブの仕方、力の抜け具合で全く違って見える。難易度の低い技でも、その人がやると妙に格好よく見えることもある。逆に、難しい技なのに自分の好みではないこともある。トリノオリンピックの成田童夢選手の1080は、私にとってその良い例である。

結局、何を格好いいと思うかは人それぞれであり、スタイルには正解も不正解もない。そんな自由で曖昧なものなのだと思う。

以前、ソチオリンピックで國母選手の腰パン姿が問題になった際にも、自分の「スタイル」を貫く姿勢が話題となった。賛否はあったが、自分が格好いいと思うものを貫く。これも一つの「スタイル」である。

先日のミラノ・コルティナオリンピックでも、この「スタイル」について考えさせられる場面があった。

村瀬心椛選手は、以前からスタイルにこだわっている選手の一人である。女性ボーダーとは思えない、男性ボーダー顔負けの力強く格好いい滑りが魅力で、本人もそこをこだわっているという。ビッグエアでフロントとバックサイドのトリプルコーク1440を決めて金メダルを獲得し、スロープスタイルでは、バックサイドのトリプルコーク1260を決めて銅メダルを獲得した。

一方、スロープスタイルで金メダルを獲得したのは深田茉莉選手であった。深田選手は、スイッチバックサイド1260やトゥ抜けのフロントサイド720など、単純な回転数だけでは分かりにくい高度な技を高い完成度でまとめた。

少しマニアックな話になるが、「トゥ抜けのフロント」は通常とは逆のエッジを使って踏み切る難しい技で、フィギュアスケートで例えるならループジャンプに近い感覚だろうか。

つまり、村瀬選手は大技で魅せる一方、最初のジブセクションでは細かなミスもあり、そこで得点を伸ばし切れなかった。対して深田選手は、派手さでは村瀬選手に及ばないように見えても、高難度の技を高い完成度でまとめ、すべてのセクションで得点を積み重ねた。

2人はそれぞれ違う「スタイル」を貫き、その結果が今回の順位につながったのだと思う。

しかし競技後、SNSでは採点結果についてさまざまな意見が飛び交った。「なぜ大技を決めた村瀬選手が金ではないのか」「採点がおかしい」など、中には深田選手本人へ心ない言葉を投げかける人までいた。

どちらの滑りを格好いいと思うかは、人それぞれである。ただ、自分の「格好いい」を唯一の正解にして、他人のスタイルまで否定する必要はないのではないか。

そもそもスノーボードのスタイルには、正解も不正解もない。高く飛ぶのも、たくさん回るのも、きれいに滑るのも、どんな格好で、どこで、どう楽しむかも人それぞれである。

スノーボードのメインストリームである「フリースタイル」という言葉に、そのすべてが集約されているように思う。

自分が格好いいと思うものを追求しながら、他人のスタイルも認める。そんな自由さこそが、スノーボードの面白さであり、私が長年続けてきた理由の一つかもしれない。

そう考えると、「スタイル」という言葉は日常にもあふれている。

私の周りに、以前から体のスタイルを気にしながら、最近では「この服、着やせする！」と満足そうにしている人がいる。スタイルを変えるのではなく、見せ方を変える。

なるほど。これもまた、一つの「フリースタイル」なのかもしれない。



生成AIのビジネス活用とスモールスタート導入を受講して

8月6日に近藤康満氏を講師としてお招きし、「生成AIのビジネス活用とスモールスタート導入」と題して開催。講義を通じて、生成AIは単なる業務効率化のための便利なツールではなく、電気やインターネットと同様に、今後の企業活動を支える基盤技術になり得るという認識を強く持った。特に、人手不足や物価上昇が続く中で、採用による人員増加だけに頼るのではなく、現在の人員で一人当たりの付加価値を高める必要があるという指摘は、製造業を取り巻く環境にも当てはまると感じた。

私はこれまで、生成AIをメール作成、議事録の要約、営業日報、提案資料の構成などに活用してきた。これらは講義で示された活用レベルでいえば、主にレベル1から2に当たる。実際に作業時間の短縮や情報整理の質の向上を実感している一方、活用が自分個人に偏っており、会社全体の業務改善にはまだ十分につながっていない。今後は、過去の見積や木型修正履歴、検査記録、作業標準書などを検索・参照できる仕組みを整え、ベテラン社員の経験や判断を社内で共有できる形にすることが重要だと考えた。

一方で、AIに任せれば何でも正しく処理されるわけではない。講義で示されたとおり、入力する情報と最終的な出力の確認は、人間が責任を持つ必要がある。特に当社では、客先図面、見積価格、品質情報など、社外へ出してはならない情報を扱うため、機密情報の範囲を明確にし、入力可否のルールを定めることが導入の前提となる。また、AIはもっともらしい誤情報を出す可能性があるため、技術判断や客先提出資料については、必ず担当者が根拠を確認しなければならない。

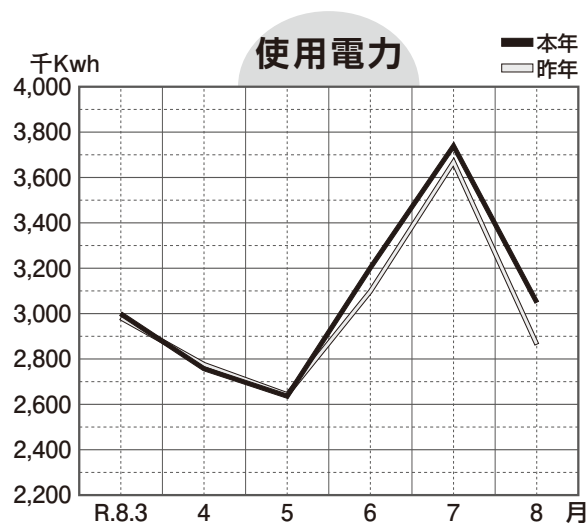
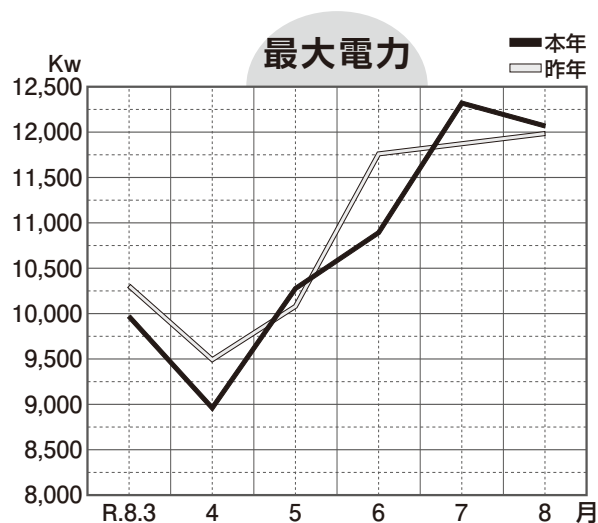
最も印象に残ったのは、全社一斉導入ではなく、経営層が自ら触れ、具体的な業務テーマを決め、有志数名で小さく始めるという考え方である。新しいシステムの導入自体を目的にするのではなく、『どの業務の、どの無駄を、どれだけ減らすか』を明確にする必要がある。まずは議事録作成、過去見積の検索、帳票転記など、効果を測りやすく、失敗時の影響が小さい業務から試し、削減時間や誤入力件数を確認したい。

将来の事業承継を考えても、個人の経験や記憶に依存した業務を減らし、誰でも必要な情報を活用できる状態をつくることは重要である。小さな成功事例を社内で共有し、効果が確認できた用途から段階的に広げることで、生成AIを一部の人が使う道具ではなく、会社の知識を蓄積し、継承するための標準的な業務基盤へ育てていきたい。





令和8年8月分電力使用状況



CO₂フリー電気とは

CO₂フリー電気とは、発電時に二酸化炭素 (CO₂) を排出しない、または環境価値を組み合わせることで、実質的に排出ゼロとみなされる電力のことです。地球温暖化防止や脱炭素社会の実現に向けて、環境負荷の低いエネルギーとして注目されています。

CO₂フリー電気の実現する仕組み

1. 再生可能エネルギー由来の発電

太陽光、風力、水力、地熱、バイオマスなどの自然エネルギーを活用して発電された電力です。発電時に化石燃料を燃やさないため、物理的にCO₂を排出しないクリーンなエネルギーです。

2. 環境価値 (非化石証書など) の活用

火力発電などで作られた電気であっても、「CO₂を排出しない」という価値 (環境価値) を証書として切り離し、電力に付加することで実質的にCO₂排出ゼロとみなす仕組みです。

- ・非化石証書: 再生可能エネルギーなどの非化石電源で作られた電気の環境価値を取引する制度。
- ・J-クレジット: 省エネや再エネ導入によって削減されたCO₂排出量を国が認証し、取引可能にしたもの。

なぜ選ばれているのか (メリット)

- ・地球温暖化対策: 発電に伴う温室効果ガスの排出を抑制・相殺できます。
- ・企業価値の向上: 企業がCO₂フリー電気を導入することで、SDGsやESG経営への取り組みとしてアピールできます。国際的なイニシアチブである「RE100」や「CDP」などでの報告にも活用されています。

注意点・デメリット

- ・コスト: 一般的な電気料金プランと比較して、割高に設定されている場合があります。
- ・実質的な供給: 電力会社のCO₂フリープランに切り替えた場合でも、自宅やオフィスに物理的に届く電気がすべて再生可能エネルギーであるとは限りません (環境価値の相殺による実質化)。

導入する方法

CO₂フリー電気を利用するには、主に以下の方法があります。

1. 新電力会社などが提供する「CO₂フリーの電気料金プラン」に契約を切り替える。
2. 自家用太陽光パネルなどを設置し、自社・自宅で発電する。
3. グリーン電力証書などを別途購入し、自社の電力使用によるCO₂をオフセット (相殺) する。

行事予定

2026 **9** September

16 水	
17 木	
18 金	
19 土	『組合休日』
20 日	
21 月	『敬老の日』 『組合休日』
22 火	『国民の休日』 『組合休日』
23 水	『秋分の日』 『組合休日』
24 木	
25 金	
26 土	団地G 2026かかみがはら産業祭 『組合休日』
27 日	
28 月	編集委員会
29 火	消防訓練
30 水	正副常任会

2026 **10** October

1 木	
2 金	衛生大会
3 土	『組合休日』
4 日	
5 月	
6 火	
7 水	
8 木	
9 金	
10 土	『組合休日』
11 日	
12 月	『スポーツの日』 『組合休日』
13 火	
14 水	
15 木	

■ 10月の行事予定

10月18日 金属団地全停電
10月19日 月例会・役員会
10月23日 代表者会議

■ 8月度金属団地ゴルフ会(取り切り戦)

8月22日 岐阜関カントリー倶楽部
優勝 森田浩明(森田木型) 2位 柳原弘幸(鵜飼) 3位 山村容弘(山村製作所)



G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<https://www.g-mecca.jp>

